



卓話「演劇少女→演劇主婦→演劇高齢者」

演劇作業室紅生姜代表

山口恭子さん

私は演劇、朗読、語りをやっています。それは想像、妄想を沸き立たせ、逢った事のない人に逢える幸せ感があります。会員の大石照志さんは声量豊かな響きのある声で、朗読の才能があると思いますが…朗読はポピュラーではありませんが、自分の声が語る果てしもない想像力を見つめることができます。女性は右脳が強く弁も立ちます。男性もどうぞ絶え間なく意識して、おしゃべりすることを勧めます。筋肉は使わないと弱ります。大いに使いましょう！食事をしたら緊張と口紅がとれました。(笑)。



さあ…体操をしましょう、肩を上下したり、両腕を前や横に動かしたり、背中で両腕を繋いだり、体をほぐすのが目的で行い……みんながリラックスしたところで話が続きます。

小学生の時、皿倉山に野口雨情碑が完成し、芝居がありました。主人公の少年が死に、りす、鹿、猿、鳥たちが「死なないで」と泣くのを見て涙が出ました。それが演劇との初めての出会いでした。中学1年生の秋の文化祭で「三年寝太郎」を見たのですが、下手で面白くなかったです。2年生になって「うりこ姫とあまんじゃく」をやるというので応募しました。私はうりこ姫がやりたかったのですが、先生は“おばあさん”役を私に振り、想いは潰されてしまいました。それから県立八幡中央高校に進学。1年生の時初めは卓球部に入っていました。演劇部に移り、演劇祭に出場しましたが落選。2年生になって顧問の先生が書かれた小石原焼が舞台の「陶器」という作品で予選、福岡大会、西日本大会と通り、3年生の夏休みの全国大会で最優秀校となりました。卒業後は三菱化成に就職しましたが、演劇は続けていました。父も父の言いなりの母も反対でしたが、20歳近くになると周りが少し見えるようになりました。そして結婚、子ども二人を授かり、20～30代は劇団を作り、「潰れたらどうしよう」と逃げかけましたが、どうにか頑張って平成20年に「演劇実践室めでいあ」を創立。俳優、朗読、語りを続けて20年、やめたいと思ったことはありません。今、障害を持つ人が加わり、「障害者に演劇を」と考えていますが、仲間といえども心を使わなければ人間関係はダメになります。身を挺して相手と関わって演劇を続けていきたい。…と話を締めくくられました。

最後に小川未明の童話「野ばら」をよく透る魅力的な声で朗読。愚かな戦争で引き裂かれた老人と青年の話に、今起こっているロシアとウクライナ戦争の残酷さ、又かつて日本が歩んだ戦争のことなどに想いを馳せながら、耳を傾けました。終りに、会長が謝辞を述べる際、声を詰まらせられたことに朗読の力！を強く感じ、とても印象に残るものでした。(内藤)

5月例会報告

いつもの通り中山会員のストレッチ運動で始まる。今回もお試し入会者が一人。4月に入会した住さんに続いて、連続して近藤さんの紹介。活性化委員長の奮闘に感謝。5月誕生日の会員は谷口会員と橋本会員のお二人。植田会長からお祝いのカードと記念品の贈呈があった。

昼食後は俳優・語り・朗読者の肩書を持つ山口恭子さんが「演劇少女→演劇主婦→演劇高齢者」のタイトルで卓話。「食事をしたら緊張と口紅が消えました」と挨拶した後、身振り、手振りで講演。特に流れるような口調の朗読には感心した。

引き続き、意見交換会の報告があり、委員会の整理統合のほか、三役の位置づけも7月総会に議案として提出することを提案した。また、同好会報告では「歴史文学講座」や「カラオケの会」の世話人が変更し、活動再開の予定を報告。新たに「歌をうたう会」「川柳の会」を発足したが、その一方で、写友会が会員不足で解散の危機にあることなどが報告された。同好会活動も少しずつ活発になっているようで、次々と世話人が同好会の開催を通知した。(安高)

朝の散歩後 パソコンで描きました



松永 光代

No60

今日も元気に玄関を出る。良い天気だ、日焼けしないように、日影を探して、通りの家の庭や、玄関前の、花壇を見ながら、月日の変化を楽しみ、毎日 30 分くらい散歩しています。この頃は、紫陽花の花の種類の変化を、楽しんで歩いています。

帰宅後、パソコンを開いて、Ward でお絵かき、紫陽花を描きました。

企画委員会

5月9日 4名出席

4人の少人数のため、小倉リーセントホテルのレストランで、食事をしながらの会議となった。主題である卓話の予定講師の確認と今後の講師選定や、卓話のあり方など和気あいあいのなか忌憚のない話し合いをした。来季の委員会再編成の話なども上がり、実のある和やかな会議となった。(大石)

親睦委員会

5月10日 12名出席

湖月堂で12時より開催。平日昼は参加者が少ないので、今後は夜に開催することになりました。会議は委員会再編を古賀副会長より説明。楽しいプロバスクラブを目指していきたいと思います。(吉田秀)

広報委員会

6月3日 7名出席

17時30分からホテルテトラ北九州で開催。「つながり7月号」と「Link23号」の発行と内容確認を行った。また、『意見交換会』についても検討を行い、様々な意見が提出された。終わりに6月例会の原稿執筆者を確認し、いつも通りの楽しい食事会で幕を閉じた。次回は7月1日、12時30分からの開催を予定している。(内藤)

活性化委員会

5月31日 9名出席

小倉リーセントホテルで開催した。委員会数・委員会のあり方等、今回も様々な意見が出された。例会、交流、広報の3委員会を、各人が選択するに当たり、より深い理解が必要だとの意見から、新委員会へ向け具体的な討論になった。なかでも、広報委へは内向きの広報活動のほか、外部へ情報発信して、会員拡大に繋げて欲しいとの期待も寄せられた。ホームページも同様に目下4名体制であるが、もっと協力者を広げていきたい(近藤哲)

全日本プロバス協議会事務局

全日本常任理事会は7月16日湖月堂で

コロナ禍のため対面による事務局会議を月1回に減らし、必要に応じて持ち回りで補ってきましたが、5月から月2回に戻し6日と18日に、6月は1日と15日に開催します。

懸案になっているのが、常任理事会の開催。持ち回り常任理事会の結果7月16日(土)、湖月堂での開催が決まり、旭川、東京八王子、鎌倉、大阪、奈良の各クラブの全日本常任理事が集まってきました。事務局では議案作り等に追われていますが、北九州プロバスクラブに対しては、歓迎の挨拶だけでなくお迎えや受付の役割を担って頂きたい、役員会をお願いしている次第です。(松本)



サザエさんの家族

古賀えみ子会員 No57

古賀さんが NHK の連続ドラマの“マー姉ちゃん”を見ていて、今回の話を思いつかれたそうです。“マー姉ちゃん”はサザエさんの作者である長谷川町子さんの若い頃の日常を描いたドラマです。この家庭があったからこそ“サザエさん”が誕生したのだと納得されたそうです。私たちが子どもの頃のサザエさんには磯野家におこるありふれた日常の出来事が面白く描かれていて、読んでいるといつも平和な気分になりました。

さて、「サザエさん家族の年齢を当てましょう」ということになり、古賀さんが事前に配布したサザエさん一家の絵を見ながら、皆さんに質問、でもなかなか当たりません。

サザエさんは 20 歳でお見合いをしてほどなく結婚し、現在息子のタラちゃんは 3 歳、サザエさんは 24 歳です、というヒントが出ました。そこから推測して夫のマスオさんは 28 歳、弟のカツオ君は 11 歳、妹のワカメちゃんは 9 歳、ここまではどうにか答えが出ましたが、父親の波平さんと母親のふねさんの年齢は誰にもわかりませんでした。二人とも 70 代以上にしか見えません。正解は波平さん 54 歳、ふねさん 52 歳でした。50 年前と比べると平均寿命が約 15 歳伸びているそうですが、それにしても驚きました。短時間でしたが、全員参加の楽しいひと時でした。（藤原）



5 月のお誕生おめでとうございます(敬称略)



谷口保徳(14日) 橋本峰子(23日)

♡同好会活動報告♠

🍴 食 美 会

5 月 31 日、2 度目の訪問はフランス料理店“心”です。店内はコロナ対策がしっかりとなされていて、若い人も多かったです。始まりは牛蒡のスープでしたが、料理ごとにシェフの丁寧な説明も入り、とても美味しかったです。二皿目は海老、鯛、イサキの香草焼きとサラダ、終りのデザートは焼きプリンを選び、コーヒーとともにいただきました。参加者は 4 名と少なかったのですが、話は大いに弾み、充実した楽しいひと時を過ごすことができました。(吉田秀)

♡同好会活動報告♠

🍷 日本酒の会

5 月 31 日夕、銘酒バー「NAO」で 9 名参加。今回は大石さん、住さんが初参加した。オーナーお勧めの乾杯用は山形の 14 代「本丸秘伝玉返し」、念のためネットで調べると 1 本 3~5 万円の超高級酒、もっとゆっくりと味わいたかったというのが、値段を聞いて後悔する貧乏人根性か。続いて石巻の「日高見」埼玉の「花陽浴(はなあび)」群馬の「5 割 5 分」など日本各地の銘酒が、説明つきで次から次へと。誰とは言いませんが酒豪さんの登場でいつもよりペースは早め、お酒の邪魔をしないオーナー夫人の美味しい料理も味わいながら、コロナ禍を忘れて楽しみました。(安高)



♡同好会活動報告♠

🎤 カラオケ同好会

約 2 年ぶりの再会です。5 月 20 日金曜日 11 時より、199 号線国道沿いの“コロケ倶楽部”で参加者 10 名。食事をしながら、それぞれ自慢の持ち歌の披露です。しばらく歌っていなかったので、声はでない、歌詞も忘れた、色々ありましたが、さすがプロバスの会員、それをカバーして大いに楽しみました。素晴らしい役者揃いでした。(安河内)



遺言書の法務局保管制度を紹介します

近藤哲生会員

ご存知の如く、遺言書には公正証書と自筆証書があります。

実務をやる上で、たった1枚の遺言書が無かった故に調停・審判を余儀なくされることもしばしばです。一度たりとも辛い経験をした方は真っ先に遺言書と申されますが、まだまだ敷居は高いようです。

これではとのことで、2020年7月より法務局に遺言書を預ける制度がスタートしました。

私の実感としては「思ったより大変だ」です。事前予約制で、申請書を添えて提出しますが、独自のルールがあり、事細かくチェックするため、私の場合は手続き完了まで1時間程かかりました。ただ、家庭裁判所での煩雑な検認手続きが不要なのと、収入印紙が3,900円で済むのは誠に有難いです。法務局での保管ですから、紛失や遺棄されたり改ざんも無くなります。最後に、保管証が発行されて無事終了でした。

皆様、元気なうちに遺言書はしっかり書いておきましょう！

トピックス

古賀靖子会員のシャンソンコンサートを聞いて

5月15日、古賀靖子会員が出演する“シャンソンコンサート”に行きました。



一部の「幸せな愛などない」は心に染みしました。二部の「さくらんぼの実る頃」はシャンソンのシャンソンたる歌いっぷりでした。私だけに見えたのかもかもしれませんが…

“舞台の魔物”に魅了された古賀会員を発見しました!! (植田)

トピックス 近藤弘子会員劇団「青春座」に出演

5月28・29日、青春座の舞台「東京小夜曲～昭和の幕がおりるとき」の劇中に登場するコーラスグループに、自ら所属する合唱団「ドリチャ・ムジカ」のメンバーの1人として特別出演した。舞台は1人の男性の変死を2人の刑事が捜査するなかで、戦争の惨禍を必死で潜り抜け、苦しみを戦後になっても引きずって生きてきた昭和の人々の想いを描いたものだが、近藤さんらは戦後を代表する「りんごの唄」などを歌った。

近藤さんはプロバスに新発足した同好会「歌をうたう会」の世話人代表になったばかり。ご活躍を期待したい。(松本)

ありがとう BOX メッセージ 5 月分 (五十音順、敬称略)

★すべてに感謝。(遠藤) ★孫が同居。大学生になったとは夢のよう。(大川) ★前会長と事務局長と同じテーブルで幸せ。(神田) ★今年は沖縄本土返還 50 年でした。皆様も色々の思いで迎えられたことでしょう。(古賀靖) ★いつも背中がピンとなる会で感謝です。(近藤哲) ★健康のために大きな声で一緒に歌いましょう。(近藤弘) ★いろいろな行事が無事にすみホッと一息。(柴村) ★ウクライナの情勢心配しています。(新城) ★(住) ★ロシアの暴挙が地球滅亡を招きませんように。(住吉) ★世界に戦争のない日が早く来ますように!(内藤) ★誕生のお祝いをありがとうございました。(橋本) ★若い人が増えて頼もしいです。私も若返りたいけれど(洞) ★感謝(松永) ★(松本) ★5 月例会、ひさしぶりです。これからもよろしく(眞鍋) ★例会楽しみにしています。(吉田信) ★世界に平和が来ますように!!(吉田秀) ★(安高)

収支報告	4 月末残高	117,040 円
	5 月分収入(例会)	8,600 円
	5 月末残高	125,640 円

